

妙塔山妙満寺めうたふさんめうまんじは京極通二条の南にあり、法華宗にして開基は日什上人にちじふなり。永徳三年五月に建立あり、元の地は綾

小路堀川の西にあり。〔今妙満寺町こうちといふ〕

道成寺鐘だうじやうじのかね〔当寺にあり、これ紀州日高道成寺の鐘なり。銘あり、兵乱ひやうらんによつて伽藍回祿がらんくわいろくの後所々にうつし、遂に天明十

六年五月に紀州新宮しんぐうの某当寺に寄付す、然れども瑾あつて音響遠く至らず、故此鐘を鑄改んとて砕んとするに、大に震動し鐘より火焰出る、衆僧これに驚て此事を止て、新に一鐘を鑄たり、則此鐘は堂内に蔵む、初は龍頭の下にひゞきありしが次第に癒て今は平なり〕

中川の井〔堂前にあり洛陽七井らくやうしちせいの中なり〕